

事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」武蔵小杉校			
○保護者評価実施期間	令和7年11月1日 ~ 令和7年12月26日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	42	(回答者数)	17
○従業者評価実施期間	令和7年11月1日 ~ 令和7年11月30日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数)	7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月14日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員間での情報共有を密に行うことで支援の内容にパリエーションを持たせながら、飽きない支援の提供ができている。また、楽しみながらも個別支援計画に則った支援を実施している。	毎日のミーティングや、月に行う会議の中で事細かに情報共有をしております。 また、保護者の方とおこなったフィードバックや、楽しく取り組めた支援内容などについても職員間で共有しております。	引き続き、情報共有をはじめ皆様が安心して通っていただけるよう職員間での会議やミーティングは実施してまいります。
2	外部発信を欠かさず行っている。	月に一度刊行している「むさこすだより」という武蔵小杉校のおたよりを筆頭にInstagram・ブログの運用をしております。小集団や日ごろの様子なども更新しています。 また、幼稚園・保育園・学校などの保育所をはじめ、外部の関係機関との連携を密に行いながら地域に根付いた事業所となるよう運営をしております。	小集団の様子などをお伝えする時におたよりやInstagramの活用はとても有効かつわかりやすいものとなっております。個人情報の遵守をしながら引き続き行ってまいります。
3	保護者の方との密な連携と、利用しやすい環境設定を行っている。	毎月半ばごろに翌月の利用についてのご連絡をLINEにて行い、当月中に翌月の空きコマについても開示しています。万が一おやすみとなった時に振替がしやすいように空きコマはスケジュール形式で見やすさを心掛けております。	細やかな連絡につきましてもその都度おこなっております。LINEのご利用がない方でも安心して連携がとれるよう電話やメール、その他媒体を用いて取り組んでおります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設面での不具合、不都合。	一度に支援できる人数に限りがあり、さらにそのスペースが限られてしまっています。	借りている物件のため広くすることは難しいが、支援内容や学年等に応じて一度に支援できる人数等を考慮しています。
2	学校卒業後(放課後等デイサービスとしての利用終了後)のその後の進路先との連携について。	現在該当者がいらっしゃらないこともあります、現時点でのご利用がございません。	同系列でアクセスショップ、ゆたかカレッジという就労支援事業所がございます。現在武蔵小杉校には該当しているお子さんはいらっしゃいませんが、そちらの施設とも連携をとっています。 また、同じ川崎市内の「きらり」との連携や神奈川県・東京都近辺の「きらり」との連携を図ることで多くの情報を得られるようまたそれを活用できるよう運営してまいります。
3	環境・衛生・安全に過ごすための整備。	災害時やケガ、感染症の流行が発生したときの教室での取り組みが不透明であり、発信がうまくできておりませんでした。	「きらり」では毎月の避難訓練に加え、毎月防災についての訓練を職員間で実施しております。その内容は多岐に渡り、災害について、感染症について、嘔吐処理について、防犯対策などについて皆様が安心して過ごせるよう尽力しております。教室への掲示やおたより、Instagramなどを活用しながら、安心して通える環境を今後も発信してまいります。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果								
事業所名		利用児童数 回収数						
環境・体制整備	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	4	0	0	・広くはないですが、きれいに整頓されて、仕切りを上手く活用されている印象です。	・ありがとうございます。思う存分、とはならないかもしれませんのが、十分に安全に配慮したスペースで今後も活動をしてまいります。	
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13	3	0	1	・指導員の方の人数は適切である感じるが、様々な専門性を持った方が減ったように感じる。多様な角度からこどもの特性を評価して共有し、支援につなげてほしい。	・ご意見ありがとうございます。内外部研修に参加し、療育の専門性を高められるよう精進してまいります。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2	0	2			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0			
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15	0	0	2			
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	14	0	0	3			
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16	1	0	0	・子供の特性を理解してくださり、いつも丁寧で適した支援内容だと思っています。飽きない取り組みや指導者の先生方とコミュニケーションの練習もさせて頂き、非常に感謝しております。 ・通い始めて8年半になりますが、ここ数年は先生方内で密に情報共有をされており、どの先生になんでも丁寧な希望通りの支援ができるているのは一番いい環境だと思います。	・ありがとうございます。 ・今後も楽しみながら継続して通える場を提供できるよう尽力してまいります。 ・長く通ってくださり誠にありがとうございます。引き続き、職員間での情報共有を密に行い、さまざまな職員とも関係性が持てるようにいたします。	
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	0	0	3			
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16	0	0	1			
保	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2	0	1	・同じ課題でも、様々な方法でのアプローチを考えてくださり、子供が飽きずに取り組めている。	・ありがとうございます。今後も楽しみながら課題に取り組めるよう尽力してまいります。	
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	4	1	8	4	・特に求めていないので問題には感じではない。		
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	17	0	0	0			
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0			
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	0	1	6			
保	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	17	0	0	0			
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14	2	0	1			

護者への説明等	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	1		
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	0	0	8		
	19 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	3	・毎回支援の後に相談でき、申し入れに関しては次回支援の際に取り入れて対応してくださってる。	
	20 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	1		
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	15	0	0	2		
	22 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	14	2	0	1		
非常時等の対応	23 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	0	0	7		
	24 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	0	11		
	25 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	0	2		
	26 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	0	0	7		
満足度	27 こどもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0		
	28 こどもは通所を楽しみにしていますか。	13	3	0	1	・毎回とても楽しみにしている	
	29 事業所の支援に満足していますか。	15	2	0	0	・精神面の支援は十分に満足しています。もう少し学習面の支援があると助かります。 ・ご意見ありがとうございます。FB以外にもご相談の中で学習の内容や進度などを一緒に決めて行けたらと存じます。	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	
------	--

公表日 2026年 2月 14日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・4コマになると狭い。椅子が足りないときがある。	なるべく4人同時支援にならないように留意してコマの配置を行っております。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	・支援できる職員は少ないと思う ・同時支援で手の空いた人がいないとき安全確保が難しい。 ・コマ数は回っているが、改善や工夫は必要 ・保育所等訪問支援がはじまり今後午前中不在にしている支援員の数が増えるのであと1名ほしい	災害時やケガ発生時に速やかに対応できるような体制を整備しております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		○	・2F、階段のみ ・バリアフリーではありませんが ・バリアフリー化はされていないが、子どもたちには「心地よい空間」になっている ・エレベーター必要	見学・体験等でいらっしゃる方へは事前にお伝えをしご理解いただけるよういたします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・窓を開けるなどしている	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・壁はないがパーティションで仕切ができる	引き続き、パーティションが倒れないような工夫とご利用のお子さんに合わせて適切に設置してまいります。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・全職員にミーティングで振り返ることはできているが目標設定という点では不十分を感じる	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ご意見をいただき、改善に努めている	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○	・第三者ではないが内部監査をおこない業務の抜けがないようにしている	義務化されていないため第三者評価の実施はしておりません。しかしながら、このような評価の時期で保護者のみなさまからのご意見や日々の支援の時に感じたことをすぐに相談できる環境を整えております。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・外部研修を促している	
支援	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・個別でプログラム、フィードバックはしている	支援プログラムはHP上で公開しております。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○			
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・支援前に計画を一読している ・放課後等デイサービス計画の読み合わせだけでもしていくとよりよいと思う	全職員が、支援に入る前に必ず個別支援計画を一読し、内容については児発管への確認をしております。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・個別なので標準化はない	
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			

適切な支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>		・前後の指導員で申し送り、および立案を行っている	
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	<input type="radio"/>		・利用児童にもよるが、定着には繰り返しが必要とも感じる	日々のミーティングや引継ぎの際に必ず情報や支援内容の共有を行い、ご利用者様に合った支援内容を提供できるようにしております。
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	<input type="radio"/>		・集団活動(小集団)として行っているが、参加してくれる人が固定化している気がする	月の中で行われる小集団活動への声掛けを行っております。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	<input type="radio"/>		・(月)～(金)に基本ミーティングをしているが時にできないこともある ・日々ミーティングをしている	基本的には毎日のミーティングを実施しており、支援や会議、研修などで実施できない際にも必ず直近で実施するようにスケジューリングをしております。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	<input type="radio"/>		・PC上で情報共有と(月)～(金)のミーティングにて ・次の日に行って ・次の日の朝行って ・日々ミーティングをしている ・機会を得て行っている	上記のミーティング内での共有のほかに、月の中で必ず支援についての会議を行い、そこで全職員が情報を共有できるような時間をとっています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	<input type="radio"/>			
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	<input type="radio"/>			
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	25 こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	<input type="radio"/>			
関係機関や保護者との連携	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	<input type="radio"/>			
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	<input type="radio"/>		・できている園や学校もあるが、できていないところもある	引き続きご利用者様の学校への連携の意思を示してまいります。
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	<input type="radio"/>		・できている園や学校もあるが、できていないところもある	きょうだいでのご利用もあるため、情報共有や相互理解は継続しておこなっております。
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		<input type="radio"/>	・以前高3の子が二人いた時がありましたが、今は高3の子がいらっしゃらない。 ・現在、そのケースがない ・該当者はいない	同系列での、アクセスジョブやゆたかカレッジとの連携を密に取っていくことを計画しております。
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。		<input type="radio"/>		
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	<input type="radio"/>		・管理者が行っている	
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	<input type="radio"/>			
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレン特訓・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	<input type="radio"/>		・研修はやっていないが、支援後特に児発のお子さんのフィードバックでご自宅でできそうなことをお伝えしている ・掲示している	地域の児童発達支援センターなどから来る掲示物の配布や掲示をおこなっております。

保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	<input type="radio"/>			
	37	放課後等デイサービス計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	<input type="radio"/>			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	<input type="radio"/>			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	<input type="radio"/>			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	<input type="radio"/>		・年に一回夏前後に保護者会をおこなっている ・やりたいと考えている	毎年夏～秋にかけて保護者会を実施しております。また、保護者同士での交流の場も今後企画していきたいと考えております。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	<input type="radio"/>		・クレームに対しては即対応している	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	<input type="radio"/>		・インスタ、月ごとのお知らせ	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	<input type="radio"/>			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	<input type="radio"/>		・言葉の使い方を配慮	特に言葉の使い方、関わり方、文字上での語弊を招かないよう留意しております。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		<input type="radio"/>	・行事はオープンにはしていない	教室のイベントを地域の中でオープンにはしておりませんが、機会があれば検討していきたいと考えております。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	<input type="radio"/>			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	<input type="radio"/>			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	<input type="radio"/>			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が	<input type="radio"/>		・アレルギーのある利用児童を確認済み	引き続き定期的に行われる食物アレルギーの外部研修に参加し、常に最新の情報を保持すると共に、エピペンの使用法や万が一アナフィラキシーショックが起きた場合の連絡経路や対応方法について、共有をしてまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	<input type="radio"/>			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	<input type="radio"/>		・LINEを利用	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	<input type="radio"/>			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	<input type="radio"/>			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	<input type="radio"/>			